

べっぴ 市議会だより

No. 71 平成 17 年 5 月 1 日

編集 議会報・HP 運営委員会
発行 別 府 市 議 会
住所 〒 874-8511
別府市上野口町 1-15
TEL 0977-21-1111
メール sec-cc@city.beppu.lg.jp



チューリップ（竹と花のアート展より）

三 月		二 月
二十五日	議会運営委員会 本会議（委員長報告、 討論、表決、議案上程、 提案理由の説明）	二十五日 議会運営委員会
二十八日	本会議（議案質疑・ 委員会付託）	二十八日 本会議（委員長報告、 討論、表決、議案上程、 提案理由の説明）
二日	本会議（議案質疑・ 委員会付託）	二日 本会議（議案質疑・ 委員会付託）
三日	各常任委員会	三日 各常任委員会
七日	特別委員会	七日 特別委員会
九日	本会議（上程中の 全議案に対する委員 長報告、討論、表決 議案上程、 提案理由の説明）	九日 本会議（上程中の 全議案に対する委員 長報告、討論、表決 議案上程、 提案理由の説明）
十一日	本会議（議案質疑・ 委員会付託）	十一日 本会議（議案質疑・ 委員会付託）
十四日	本会議（一般質問）	十四日 本会議（一般質問）
十五日	本会議（一般質問）	十五日 本会議（一般質問）
十六日	議会運営委員会	十六日 議会運営委員会
十七日	本会議（一般質問）	十七日 本会議（一般質問）
十八日	各常任委員会	十八日 各常任委員会
二十四日	議会運営委員会 本会議（上程中の 全議案に対する委員 長報告、討論、表決）	二十四日 議会運営委員会 本会議（上程中の 全議案に対する委員 長報告、討論、表決）

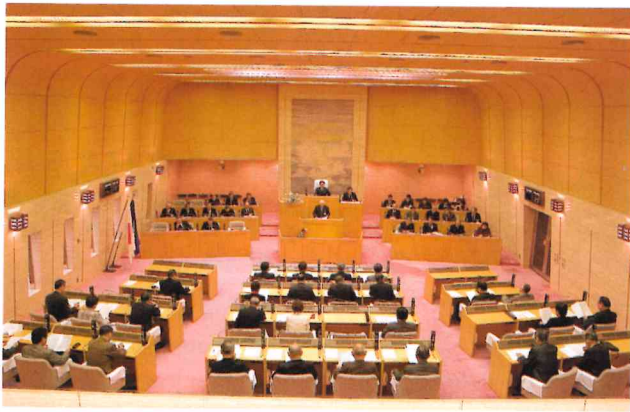
主な内容

主な議決 … P2～3

議案質疑 … P4

特 集 … P5

一般質問 … P6～11



3 月 定 例 議 会 風 景

主な議決

三月定例会では、初日に継続審査中の議第三十二号について、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ採決の結果、原案のとおり可決されました。次に新年度予算など四十五件の議案が上程され、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は最終日に、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決及び承認されました。続いて議員より別府市議会議員定数条例の一部を改正する条例等九件、市長から収入役選任の同意が追加提案され、三件を除いては全て原案のとおり可決及び同意されました。

継続審査

◎ 議第三十二号「別府市議会議員及び別府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定」について
(原案可決)

平成十六年三月の定例会において上程され継続審査中の議第三十二号は、「議会改革推進委員会」において延べ九回にわたる協議の後、答申が議長宛に提出され、議会運営委員会ですべての結論を見るに至りました。この一連の改革項目が一定の方

副議長の就任

三月二十四日、松川 峰生副議長から辞職願いが提出されたのに伴い、副議長選挙が行われ、堀本 博行副議長が選出されました。



堀本 博行
副議長

向性を見出せたことと同時に候補者間の機会均等を図ることを勘案するとき、時宜を得た制度導入であることにより全会一致をもって可決されました。

補正予算

◎ 平成十六年度各会計（一般会計第八号・国民健康保険事業ほか十特別会計・水道事業会計）補正予算
(原案可決)

今回の主な補正内容は退職予定者より多くの退職者があったため退職手当の追加補正を計上、また今回が

最終予算のため各会計とも決算見込み額によって、歳入・歳出予算の計数整理を行ったものです。

新年度予算

◎ 平成十七年度別府市一般会計予算
(原案可決)

新年度予算は、「再生べつぷを展望する予算」と位置付けている。

国の「三位一体の改革」に関する新たな方向性が示され、平成十六年度ほどの大幅な削減は避けられたものの既に削減済みの影響は解消されず、引き続き本市の財政運営を圧迫している。こうした厳しい状況にあっても、行財政改革の推進を図るとともに、将来を展望する第一歩として、「観光再生」の実施に向けた予算編成を行っている。以上のような観点から、一般会計予算においては三百七十八億一千万円で、前年度の当初予算に比べ一・九%の減、特別会計予算においては五百四十四億七千六百万円で、前年度の当初予算に比べ二・九%の減とし、国の地方財政計画を更に踏み込んだ縮減としている。これは単なる緊縮型予算ではなく、必要な事業の継続はもちろん、事業の見直しにより捻出した貴

重な財源については更に有効な活用を図り、「再生べつぷ」に向けた「動き」を実感することができるようである。

◎ 平成十七年度別府市国民健康保険事業特別会計予算ほか十特別会計予算及び平成十七年度別府市水道事業会計予算 (原案可決)

条例の制定・廃止

◎ 別府市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定について (原案可決)

法人その他の団体に、公の施設の管理を行わせることができる指定管理者制度を導入することに伴い、指定管理者の指定に関する共通の手續き等について必要な事項を定めるため、条例を制定しようとするものです。

◎ 別府市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について (原案可決)

◎ 別府市浜田温泉資料館の設置及び管理に関する条例の制定について (原案可決)

◎ 別府市農業委員会の選任による委員の議会推薦委員の定数に関する条例の制定について (原案可決)

◎ 別府競輪場ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の制定について (原案可決)

◎ 別府市営楠会館の設置及び管理に関する条例の廃止について (原案可決)

条例の一部改正

◎ 別府市議会議員定数条例の一部を改正する条例 (原案可決)

(改正理由)

議会改革を推進するに当たり、議員定数を更に削減しようとするものです。

◎ 別府市議会委員会条例の一部を改正する条例 (原案可決)

(改正理由)

機構改革の実施による常任委員会の所管事項を整備すること等に伴い、条例を改めようとするものです。

◎ 別府市議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例 (原案否決)

(改正理由)

◎ 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 (原案否決)

◎ 別府市職員の給与に関する条例の一部改正について (原案可決)

◎ 別府市公民館条例の一部改正について (原案可決)

意見書・決議

議員より意見書案3件が提出され、2件が可決されました。可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

- ◇ 有害鳥獣対策のルール確立を求める意見書 (原案可決)
- ◇ 発達障害児(者)に対する支援促進を求める意見書 (原案可決)

- ◇ 「障害者自立支援給付法案」の改正を求める意見書 (原案否決)

議員より決議案が提出され、可決されました。可決された決議は直ちに関係機関へ送付されました。

- ◇ 別府大分毎日マラソン大会の活性化に関する決議 (原案可決)

その他

◎ 別府市婦人会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決)

◎ 別府市文化財保護条例の一部改正について (原案可決)

◎ 別府市印鑑条例の一部改正について (原案可決)

◎ 別府市農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部改正について (原案可決)

◎ 別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決)

◎ 市有地の交換について (原案可決)

◎ 議決事項の変更にについて (原案可決)

◎ 市有地の貸付けについて (原案可決)

◎ 別府市営クレール射撃場の長期かつ独占的な利用について (原案可決)

◎ 別府市浜脇野菜集出荷場の長期かつ独占的な利用について (原案可決)

案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。三月二日に二名、三月十一日に十四名の議員が行いましたが、そのうち、主な質疑内容を掲載します。

別府駅周辺整備と亀川駅周辺整備事業について

問 別府駅の駅前、東側及び西側の整備について、駅の中や外装はきれいになったが、今後についてＪＲとの協議や計画はどうなっているのか説明願いたい。

答 今回の大改装においてＪＲが駅東側も整備していただいております、西側もまちづくり交付金などの補助をいただながら、別府市が主体で行うとの計画でＪＲと現在協議しているところである。

また東側は現在シェルター（雨よけ）が無いので、出来るだけ速やかに別府市の責任でシェルターをデザイン的なものも含めて、ＪＲと協議しながら駅の周辺整備を図りたい。

問 別府駅前広場のモニユメントの

設置場所や大きさ等について説明願いたい。

答 ＪＲ別府駅の文字が入るような形で又、背後地にＪＲの文字が入るような駅前広場の中央よりもやや北寄りの位置に直径三メートル程度のモニユメントを設置する。

デザインについては現在検討中であるが、湯だまりを中心とした別府を象徴するような物を考えている。

問 亀川駅周辺は以前から障害者に対するいろいろな問題が提起されてきました。

今回の亀川駅周辺整備についてどのような計画なのか説明願いたい。

答 今回、亀川駅周辺を重点整備地区に定めてバリアフリーを推進する事となっている。具体的には今ある駅東側の駅前広場を整備し又、西側については市道近辺の用地を確保す

ることで駅前広場を創設し、東側と西側の連絡については橋上通路でバリアフリーに資するようなエレベーターの設置を計画している。



改装された別府駅舎と駅前広場

三位一体改革に対する別府市の取組みについて

問 現在の厳しい財政事情の中で、国の三位一体の改革による別府市の影響をどのように考えているか説明願いたい。

答 三位一体の改革を初めとする既存のあらゆる改革が論議されている現在、財政予測が大変厳しいものと認識している。今後についても「緊急財政プラン」を見直しながらさらなる行財政改革に取組む覚悟である。

問 この三位一体の改革における具体的な影響について説明願いたい。

答 平成十六年度の決算見込では約

十二億六千万円減、平成十七年度の当初予算ベースでは約六億八千万円減の影響がある。

問 三位一体の中で地方の財源を保障する機能である地方交付税が一番大きな問題であると思うが、当局の考えをお聞かせ願いたい。

答 住民サービスを直接提供している市町村の財源である地方交付税の見直しは重要課題であるので、今後とも市長会を通じて国に働きかけていきたい。

問 予算編成について、特に配慮した点について説明願いたい。

答 歳入面では公共事業関係の補助金削減が進んでいるので、まちづくり交付金事業の活用など新たな財源確保への転換を図り、事業に要する一般財源の節減を目指している。

又、将来を見通した事務事業の転換を進め、経費の絞込みだけではなく施策の重点化を図るなど限られた財源を有効に活用することを基本方針にしている。「再生別府を展望する予算」と位置付けており、見直しにより創出した財源を活用し、観光再生に向けた温泉ツーリズム推進にかかる事業財源等に充てている。

（三位一体の改革）一 地方交付税の見直し二 国庫補助金の廃止及び縮減三 国から地方への税源移譲

特集

議会改革

議員定数 31人を29人に削減



《経 緯》

別府市議会では、国の三位一体の改革による財政構造の改革に伴い、本市行政においても全庁体制で行財政改革に取り組んでいる最中でもあり、当市議会もみずから改革を推進すべきであるとして、平成16年4月9日に議長の私的諮問機関として、委員10名からなる「議会改革推進委員会」を設置し、延べ9回にわたり協議を行ない平成16年10月8日、25項目にわたる各種の議会改革に係る答申が議長に提出され、議会運営委員会において協議をした結果、改革に取り組むべきとの申し合わせをしました。

今回の議会改革に伴う経費の削減額は、4年間で約1億1千万円が見込まれます。

《主な改革》

① 議員定数を削減

特に議員定数については、市民の要望等により昭和62年4月施行の統一地方選挙から36人を33人に、平成15年4月施行の統一地方選挙から33人を31人としていた。現在、地方分権の進展により、地方議会の責任は一層重いものとなり、多種多様な住民意思の反映や執行機関を十分監視していくためには、ある一定程度の議員数が必要であるが、大変厳しい財政状況であることや、市民の考えに立脚するとき、議員定数をさらに削減すべきであるとして、平成17年第一回定例会において、議員定数31人を29人に減ずる定数条例の一部改正を議決した。

② 常設的に設置されてきた三つの特別委員会を廃止

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

三月十四日から十七日までの四日間二十三名の議員が市当局の見解をたどりました。

主な内容は次のとおりです。

学校の安全・ごみ減量化について

日本共産党議員団

猿渡 久子議員

問 学校の安全のために学校と地域との連携を充実させ、地域全体で子供達を見守っていくことが大切だと考えるがどうか。

答 大平山小学校区などボランティアによるパトロール隊が市内で十二隊発足している。今後他の校区でも地域の協力体制が構築できるよう関係機関・団体をお願いしていきたい。

問 ごみ減量化の取り組みが重要だと考えるがどうか。生ごみのたい肥化を進めるため、たい肥の活用を増やすべきと考えるがどうか。

答 「容器包装リサイクル法」の未実施部分である「その他紙製容器包

装・その他プラスチック製容器包装」の分別収集・リサイクルに取り組みたい。

問 市民が自宅をリフォームする際の補助制度を実施すべき。

答 協議・検討したい。

問 医療費自己負担の減免制度を。

答 情報収集・研究・協議中である。

別府駅・亀川駅周辺の駐輪対策について

公明党 原 克実議員

問 今回別府駅・亀川駅周辺の整備が行われるが、特に今整備を進めている別府駅東口と西口の駐輪場の整備についてどの様に考えているのか。

答 JRが進めている別府駅東口広場や駅舎のリニューアルと併せて西口広場の整備も行い、国際観光温泉

文化都市にふさわしく訪れる人にとって思いに残る広場を目指したい。

またJRと協議をする中、今年度予算で新規に北側高架線下の一部を借り受けて駐輪場の整備を進めていく。

問 高架線下の新規駐輪場は百六十台と聞いているが、現状の西口駐輪場の整備も実施すると共に整備後は管理対策の取り組みと受益者負担も視野に入れた取り組みも必要と考える。また別府市には環境美化条例があるが効力を上げるためには、駐輪禁止区域の制定の必要性について当局の考えを聞きたい。

答 先進地を参考にしながら条件整備を進めていきたい。



別府駅西口の駐輪場

悪性腫瘍の集団検診について

日本共産党議員団

野田 紀子議員

問 乳癌は女性の癌の中でも罹患率が高い。集団検診を更に充実すべき。

答 三十歳以上の女性が対象。触診の他マンモグラフィーを市内十二箇所を実施。受診者が増えているので、平成十七年度から受診場所を増やし、早期発見早期治療を進める。

問 前立腺癌に罹患する五十歳以上の男性が増加している。死亡者数は二〇一五年には二〇〇〇年の二倍以上になると推測されている。前立腺癌の集団検診を実施すべきと思うがどうか。

答 市民の癌による死亡数一位は肺や気管・気管支の癌。前立腺癌は十位である。今後、罹患状況と国の指針を参考に取り組む。

問 前立腺癌は症状が出る前の早期治療が効果的。進行は遅いものの、発見が遅れば他の臓器へも癌が転移するので完治は困難になる。集団検診にPSA（前立腺特異抗原検査）という血液検査を導入すべき。

男女共同参画社会の実現について

社民・市民の声連合

高橋美智子議員

問 女性の各種委員会や審議会の登用率の伸び悩みの現状と、今後の在

り方について問う。

答 市としては積極的に取り組んでいるが、登用率が上がらない理由の一つとして、委員の選定条件が設置要項や規則等の中で職務指定となっている所が多い。今後も長の職務指定ではなく、団体の推薦や個人に偏らない幅広い人材の選任と、女性の適任者の積極的な推薦により推進していく。

問 具体的には公募や兼職の制限、長期在職の禁止等は、要項や規則作りをすればよいのではないか。すでに制定している市町村もあるので、各種審議会等の委員の委嘱基準を作っていたきたい。なお団体等は市民ネットワークを公募の要件に入れる等してはどうか。市民との協働のまちづくりが進んでいくのではないか。

答 基準作りについて検討する。

消防署の職員の現状について

社民・市民の声連合

麻生 健議員

問 消防職員の年齢別構成について一人もいない年代が八つもあり、団塊の世代が退職した後では現有の百四十一人が九十四人に減ってしまう。



別府消防署全景

今後、市民が安全で安心して暮らせる消防行政を行うために職員の採用等についてどのように対応するのか。
答 議員ご指摘のように五十四歳から六十四歳までの在職職員四十七名が退職することから、消防力という面で議会において本署及び各出張所の消防隊、はしご隊、救助隊を四名体制に整えられるよう人事当局と協議して参りたいと答弁いたしております。今後、消防本部の事務で消防吏員以外で出来る事務を選別し、嘱託職員を活用しながら財政状況の非常に厳しい中ではありますが、いびつな状況を解消し市民が安全で安心して暮らせる消防行政を確立するために鋭意努力して参りたいと思っております。

各種補助金のあり方について

公明党 堀本 博行議員

問 先日、予てから勉強に行つて見たいと思つていた千葉県我孫子市の調査を行った。全国的にも我孫子方式とまで言われる補助金制度で、既得権にとらわれず、民間人に委員を委嘱したり、三年間で補助金を一度白紙に戻すなどの見直しを行っている。別府市もこの方式を導入してはどうか。

答 平成十七年度の予算編成にあたり、査定段階で補助金については全件見直しの方針でヒアリングを行い、補助金交付先の事務・経理内容や補助金の目的及び効果等を聴取し、決算で多額の繰越金が計上されてないか等の精査を行った結果、八十二件約一億三百万円の見直しを行ったところであります。これは第一段階であり次年度以降は補助金交付要綱の見直し等を行うと共に、減額だけでなく成果の上がつているものには増額する成果主義の導入を図りたい。また第三者機関の設置は、内部での補助金決定には限界があるので今後設置の方向で検討いたしたい。

楠港跡地への企業誘致について

社民・市民の声連合

内田 有彦議員

問 当市は全国・国外においても温泉観光都市であることは言うまでもない。なのに中心商店街は衰退の一途を辿っている。その原因はホテル・旅館・商業者自ずからにあるといえる。別府観光の祖油屋熊八翁は独自のアイディア奇策を持って当市をブランド温泉地に仕上げた。その考え方は、どなたでも別府市に来て商いをして下さい、商いをする人が集まれば客が来る、客が来れば街は発展する。商行為はオープンにしてこそ、そこに市場原理が働き消費者の心を掴むものです。今日当市で財を成し功を挙げた方々は殆ど他の地域からといっても過言ではない。来る人を拒まず共存の道を計るべきです。閉鎖的なまちづくりは決して発展はしないことを忘れてはならない。当市は何かしようとするとき必ず反対運動が起こる。別府というところは難しいという汚名がある。大変憂慮しなければならぬ。当市は今や治療福祉学園等複合商業都市に変貌しつつある。そのことを踏まえその上に

立って共存の道を探るべきと思われる。

楠会館の活用について

自民党清新会

国実 久夫議員

問 楠会館を取り壊す予算が新年度に計上されているが、楠会館はどのような目的でいつ建築されたのか。

答 楠会館は商店街の活性化を目的に、楠温泉や商店街に勤務する従業員の方の宿舎として昭和三十九年に建設されました。

問 楠会館の敷地の広さは、又その跡地の利用についてはどうなるのか。

答 楠会館の敷地は三九四・五三㎡であり、跡地の利用についてはこれまで数回地元自治会の方々の要望を伺っております。まだ市として具体



現在の楠会館

的な利用計画を決めていませんが、今後議会や楠商店街の方々地元自治会の方々のご意見をお聞きしまして、中心市街地活性化基本計画に則った形で利用していきたいと考えております。又この温泉をどう活用していくかについては今後関係者と協議して参りたい。

問 早急にボーリングをして頂いて、文化的な温泉を造っていただきたいことを要望します。

地域再生・観光 特区認定について

自民党清新会

野口 哲男議員

問 国が進めている地域再生計画において世界の健康都市「別府」「きれい・元気づくり」ONSENツーリズムの推進」として認定されたが、観光振興上大変重要な決定である。今後一層の相乗効果を期す為観光特区の指定が望まれる。その概要と計画倒れにならない為の具体的推進は。

答 国が地域の活性化と雇用の創造を図り、持続可能な地域再生の実現を目的に創設したものです。別府市はきれい元気づくりを推進し地域再生を目的にその総合的な活動をONSENツーリズムとし「健康サービス産

業の活性化」「スポーツコンベンションによる活性化」「国際化、アジアとの連携による活性化」「夜のにぎわい拠点づくりによる活性化」の四つに大分類され三十三項目を頭出しし、まちづくり交付金等支援措置を受け実施するもの。世界のマツサイジ集積等各事業の後押しをするためにも具体的な取り組みが始まれば「特区」申請も必要になると考える。

行財政改革について

行財政改革クラブ

泉 武弘議員

問 十五年度決算からごみ収集に携わる八十一名の職員給与を見ると、正規職員の平均給与は六、八五一、六九八円で一日あたり二八、四三〇円、一時間三、七九〇円。学校給食調理は正規職員『共同調理場』六五九万円、一日あたり二七、三七八円、一時間三、六五〇円。単独調理場七三三万円、一日あたり三〇、三三六円、一時間四、〇四四円となっている。ごみ収集では午前・午後ともに一時間程度勤務実態がない、調理では給与格差が大きいにも関わらず、正規・嘱託・臨時職員が同じ仕事をしております労働基準法に抵触する

のではないかと。(給食調理は給食調理日数から計算)

答 ごみ収集の実態については調査する。もし事実であれば当然改善に努める。一般社会から見れば考えられないことである。給食調理では同一価値労働、同一賃金の原則から重く受け止めている。

DV被害者からの 相談について

社民・市民の声連合

田中 祐二議員

問 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)が施行され、DVに関する定義の拡大や保護命令制度の拡充が行われると同時に被害者の自立を支援することを含め適切な保護を図らなければならないことが明確にされたところであるが、別府市でのDV(配偶者からの暴力)被害者からの相談受付はどの様に行われているのか。

答 婦人相談室を設置し相談員がDV被害者から相談を受けています。

問 相談件数は。またDV被害者に対する相談業務は行われているのか。

答 平成十五年度は七件、平成十六年度は十七年二月末現在の件数が十件となっている。婦人相談員が被害

者の相談内容について時間をかけて聞き、被害者がどうしたいかについて聞き取りを行い、個々の内容に応じて助言指導を行うとともに、場合によっては本人の意思を確認した上で一時保護を行います。

別府市交通バリアフリー基本構想

公明党 市原 隆生議員

問 別府市交通バリアフリー基本構想について冊子が発行されている。

これは多くの市民の声を聞きながら関係機関、専門家も参加して練り上げられた内容であると承知している。四回に渡る検討会で、太陽の家や市営住宅あたりから亀川商店街を行き来する道路に関する要望が多く出されていたと思うが、この冊子の中では何も触れられていないがどうなっているのか。

答 指摘の箇所は道幅が六・一メートルで道路構造上の問題等により、今回の計画に組み込めなかった。しかし今回の協議会のみならず以前よりの要望があるところなので、今後他の方策を検討し、地元と意見調整を図りながら、大分県に要望していきたい。亀川地区の地域性を考慮し別府市総合計画の「福祉のまちづく

りの展開」を図るうえで、今後の整備を考えていきたい。

市有区営温泉への対応を検討すべき

社民・市民の声連合

池田 康雄議員



駅前高等温泉

問 現在主に地域住民が利用している市営温泉が六施設ある。十五年度決算でそこに三千万円余りが投入され、五カ年累計では一億六千万円余りの市費支出をしながら運営を支えている。ところが、市内には六十六の地域住民が温泉を楽しんでいる市有区営の浴場がありながら、市費支弁外温泉として一切の運営補助をしていない。今まで当然の様にして続けてきているこういう温泉行政に強い疑問を感じる。

駅前高等温泉は、二十四時間営業や宿泊施設を持つている点で他の市有区営温泉とは異質である。その高等温泉が老朽化し、耐震性にも問題があつて大規模改修をしたいのだが資金の確保が難しく困っている。私は駅前高等温泉は永続的に存在し続けて欲しい温泉施設だと考えている。幸い別府駅がリニューアルし、これを契機に駅前通りを活性化しようという気運が高まっている。行政として駅前高等温泉改修にどう協力できるのか検討して欲しい。

行財政改革や観光行政について

自民党市民クラブ

村田 政弘議員

問 行財政改革について福祉予算が年々増大し総予算の約四割を占める勢い。そこで財政支出の中人件費の占める比率が大きいため職員定数を抑え、民間委託や嘱託職員化して人件費を圧縮するしかない。義務的経費は容易に抑えられない当局の努力を要請した。次に観光行政の中スポーツ観光の重要性を実例を挙げ説明し、当局の一層の奮起を要望した。

(別府大分毎日マラソン・第三回きさらぎ杯争奪戦少年剣道大会・野球

等の例) また乙原の滝が観光資源として重要視されていないことについて当局の考えを正した(水道用水の源水関係あり) 次に少年自然の家の運営状況について質問、生徒児童の減少に拘らず利用状況は大きく変化していないとの答弁があり安心した。最後に、先日竹瓦温泉で休館日の夜七時半頃鳩除けの電源が何らかの事故で火花を吹いたが、その時、関係機関への連絡が十分でなかったことを指摘した。

大型店に頼らず魅力的な商店街を

日本共産党議員団

平野 文活議員

問 楠港問題は、凍結の間も、反対者を含めたオープンな議論の場を持つべき。また大型店誘致にこだわらず、魅力的な商店街をつくるための協働という原点に立ち戻るべきではないか。

答 市長と語る会や議会でもオープンな議論をするが、反対者との議論の場を持つ考えはない。また商店街との協働は賛成だが、誘致計画を白紙に戻すことは出来ない。

問 別府駅前での客引き禁止の合意がされたことは高く評価する。今後

も復活させない努力を求める。

答 各方面の協力により禁止が実現した。今後とも努力していく。

問 震災対策のために、旧市街地の防火水槽や耐震性地下貯水槽の増設、海岸線の津波・高潮対策・学校の耐震化促進などが必要ではないか。

答 防災計画の見直し、海岸線住民の避難訓練、防火水槽の設置、年一棟ずつ学校の耐震化を進める。

学力低下問題 南部地域の振興策

自民党市民クラブ

首藤 正議員

問 県下一斉学力テストの結果、別府市の児童生徒の学力低下が明らかになったが、その後、学力向上にどのような対策を取っているのか。また、今後の基本的な方針を示せ。

答 教育基本方針の最重要課題に位置づけ、補充学習、指導法の改善に取り組んでいる。今後は、新設した学力向上推進事業を通して、児童生徒の学習意欲の向上と弱点の克服などを図っていく。

問 南部地区は、少子高齢化が市の中で最も進んでいる地区だが、問題点を捉え今後どのようなまちづくりをするのか、具体的な対応策を示せ。

答 南部地区の定住人口を増す施策を実施する。高齢者や子供に優しい環境づくりと、楠港埋立地・南小学校跡地・楠会館跡地の利用を始め防災対策事業などの拠点開発を図っていく。同時に遊休市有地の有効活用を積極的に進め、南部地区の活性化を推進する。

児童・高齢者・障害者の虐待防止について

自民党清新会

萩野 忠好議員

問 現在、虐待が社会問題となつていきます。児童は虐待があつても言えず一人で悩む。又高齢者については家庭や地域・高齢者施設等で受ける場合があり、今後増えることを非常に心配している。障害者においてもすぐに自分で対応が出来にくく、特に知的障害者は立証できるほどの説明を言えず泣き寝入りがあります。別府市の虐待数と取り組みについて伺います。

答 高齢者の虐待は一年間で大分県内四百八十四件あり、別府市では四十一件。内容は①身体的虐待②心理的虐待（悪口を言う・意図的に無視する）③性的虐待④経済的虐待（金銭を渡さない・自宅売却）⑤介護・

世話の放棄等です。地域の支援センターのほか人権相談を市役所や社会福祉協議会で実施している。国で高齢者虐待の防止に関する法律が制定される動きがあるので、今後引き続き相談体制の充実を図るように考えていきます。

事業部制度の導入について

自民党清新会

山本 一成議員

問 新年度より機構改革にともない事業部制度が導入されるが、その目的と意義は。

答 各部が部長を中心として、自ら考え「人・金・もの」を一定の権限内で駆使できる自己決定・自己責任の組織、迅速かつ分権的な組織を事業部制として目指しています。部長の意見はますます重要なことになると考えますし、人材を育てることが大切であると考えています。

屋台文化と若手起業家育成について

自民党清新会

長野 恭紘議員

問 今回の楠港問題は、まちづくり

や商店街の活性化を考える上で貴重な問題提起をしてくれた。従来のやり方で、当たり前のことをしていても商店街や中心市街地の活性化は図れない。私は昨年末に民間の若手経営者の方々とトキハ前でカウンタダウンイベントを行い、その中で屋台村という一つの試みをしたが大盛況だった。今後、年間を通して屋台村を市内のどこかに作りたいという若手経営者の声があるが、どのようにお考えか。

答 （市長）昨年末のイベントは大成功だったと聞いている。別府市でもかなり前に屋台村の構想はあったが、いつの間にか消えてしまった。私の想いの中でも、ぜひ屋台村をやってみたいという気持ちを持つている。問題は出てくるでしょうが、共に協力していきたいと考えている。



大晦日に行われたべっぴんカウントダウンでの屋台村の様子

少子化対策について

自民党清新会

嶋 幸一議員

問 本市が取り組む「夜間子供診療」は県下に誇れるものであるが、更に適切な診療を行い充実した形で続けるには場所の確保が必要である。そのため、小児の夜間診療だけでなく、現在市民体育館等で行っている乳幼児検診や妊婦の育児相談、児童生徒の生活習慣病予防検診、充実した市民検診や高齢者の健康教育も行えるような複合施設の保健センターが必要ではないかと思う。市長は選挙公約で総合福祉センターの整備を掲げておられ、この保健センターの必要性についてはご理解をいただけたと確信しているが、お考えを伺いたい。

答 乳幼児から高齢者まで全ての市民の健康づくりを推進する施設は必要であると認識している。既存の施設を活用して保健センターとして利用できないかなど、現在検討いたしているところであります。

職員の退職時 特別昇級について

自民党清新会

松川 峰生議員

問 国も地方も、厳しい財政運営を強いられている中で、勤続二十年を越えた国家公務員に退職金をかさ上げする制度がようやく廃止されるようになった。国の借金が増え続ける中、更に驚くのは同じような制度が今でも多くの自治体で存在していることである。地方交付税も大幅に削減され、予算編成に四苦八苦されている自治体が、お手盛りを存続させる理由はない。団塊の世代が退職を迎える前に、別府市も退職時特別昇給制度を廃止すべきであり、また今後十年間で特別昇給が廃止された場合、その効果額はどの程度になるのか。

答 別府市に於いても、平成十七年二月七日に職員組合と再交渉の結果、平成十七年四月一日より廃止とし、今後十年間で特別昇給の廃止により対象職員四百二十九名、影響額八千七百万円、年間約六百万円、千三百万円です。

スポーツ観光 「新野球場について」

自民党清新会

黒木愛一郎議員

問 計画案作成の経緯とその内容について。

答 ナイター照明設備設置等を含み、



新球場建設予定地の実相寺中央公園第2多目的グラウンド

十五億円を想定していた。

問 縮小されてどうなったのか。

答 両翼九十八m、中堅百二十二m、収容人員二千五百人程度となった。

問 ナイター照明設備の整備について。

答 設備費が高額となり、地元住民の設置は困ると言った意見もある。

問 ナイター設備の金額は。

答 およそ二億円である。

問 提言として、ナイター設備がなければ合宿も呼べないし、大会誘致も出来ない。スポーツ観光を推進する上でマイナスとなるのではないかと思う。

（註） 新球場建設予算については、将来に向けナイター設備を供えた球場建設に取り組むようにとの要望を付し可決されました。

経済界と話し合いを 中国雑伎団誘致を

公明党 岩男 三男議員

問 市が誘致しようとしている雑イヅミについて、市長は「お金を出して来てくれる」「損得抜きに来てくれる」と発言しているが、利益を考えずに進出する企業があるのか。進出した都市で商店が活性化している場所を具体的に示せ。商工会議所、旅館ホテル組合、商店連合会等と話し合い理解を求めていかなければ、市政運営に問題を残し凍結した意味がないと思う。

答 雑イヅミが進出した場所で成功しているのは呉市と考えるが他の都市は示せない。商工会議所等とはしっかり話し合い理解を求めていく。

問 「市長の公約に観光イベントの構築が挙げられている」日本にビザで滞在している中国雑伎団のメンバーが東京を中心に活躍している。県の補助金も受けられると思うが、中国・烟台市と友好都市二十周年の記念イベントとして取り組んで欲しい。

答 県の観光地域振興局の補助金を活用すれば実現の可能性がある。県と協議いたしたい。

(◆委員長 ◇副委員長、議席番号順で掲載)

委員会名	所 管 事 項	委 員 名
総務文教 委 員 会 (8 名)	行財政・組織・人事・事務管理・消防・ 防災・救急体制・学校教育の充実や社会教 育の推進などについて審査及び調査します。	◆長野 恭紘 野口 哲男 高橋美智子 岩男 三男 ◇浜野 弘 野田 紀子 山本 一成 首藤 正
観光経済 委 員 会 (8 名)	観光振興・温泉の整備充実、商工業の育 成活性化、競輪場の管理運営、農林水産業 の振興などについて審査及び調査します。	◆泉 武弘 麻生 健 平野 文活 三ヶ尻正友 ◇市原 隆生 萩野 忠好 松川 峰生 内田 有彦
厚 生 委 員 会 (6 名)	福祉施策の充実、健康の増進と医療・保 険体制の充実、環境・交通対策の推進など について審査及び調査します。	◆吉富英三郎 嶋 幸一 清成 宣明 ◇村田 政弘 田中 祐二 原 克実
建設水道 委 員 会 (8 名)	都市計画及び開発の推進、上水道・下水 道・道路整備、公園・緑地の整備、市営住 宅の整備などについて審査及び調査します。	◆佐藤 岩男 猿渡 久子 池田 康雄 永井 正 ◇国実 久夫 黒木愛一郎 堀本 博行 朝倉 斉
議会運営 委 員 会 (9 名)	市議会の円滑な運営を図るため、議事 の運営その他必要な事項を協議します。	◆首藤 正 市原 隆生 猿渡 久子 高橋美智子 三ヶ尻正友 ◇野口 哲男 国実 久夫 田中 祐二 山本 一成

お願い

◎政治家が入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合への祝儀など寄付をすることは禁止されています。

◎政治家に、寄付を勧誘・要求することは禁止されています。

人 事

次の人が、三月二十四日の本会議において、収入役に同意されました。

○収入役の選任について

林慎一（新任）

昭和二十二年二月一日生
別府市中島町十三番五号
(経歴)

(經 歷)

平成 七年七月 市議会事務局参事

平成 八年四月 観光課参事

平成 九年四月 職員課長

平成十二年四月
総務部次長

兼職員課長

平成十三年四月 市長公室長

平成十四年四月 市長公室長

兼秘書課長

事務取扱

平成十四年十月 市長公室長

平成十五年七月 市議会事務局長

傍聴のご案内

- ◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆ お気軽に議会棟四階へお越し下さい。
- ◆ 傍聴席は八十席あり、車椅子席も七台分用意されています。
- ◆ 次の第二回定例会は、六月を予定しています。

市議会を身近なものに！

ホームページでは、「市議会日程」「会議録」「議員名簿」など役に立つコンテンツや、普段見られない「議場」「議長室」などを360度のパノラマでご紹介しています。ぜひ一度ご覧ください。

別府市議会のホームページは
<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/> よりどうぞ。